

	状態	原因	対処
1-1	<p>泡が出ていない/泡の量が少ない</p> <p>※気泡の発生量が低下すると、調整弁が働いて大きな泡が出る場合があります。調整弁については本項7や、取扱説明書の「調整弁について」をご参照ください。</p>	<p>泡が小さすぎて見えていない</p>	<p>特別な対処は必要ありません。</p> <p>※B.nano バブルの割合が多いと、泡がほとんど出ていないように見えますが、効果に変わりはありません。</p> <p>目視で泡の発生を確認する時は、本体を水面近くまで持ち上げ、できる限り横から見てください。上からは泡がみえない場合でも、横からなら見えることがあります。</p>
1-2		<p>使用中に肌いりを裏返してしまった</p>	<p>フィルム内側が濡れてしまい、気泡発生を妨げています。次回ご使用になる前にふた内側を水ですすぎ、陰干しにてよく乾燥させてください。</p>
1-3		<p>前回ご使用後によく洗わなかった</p>	<p>フィルム内側に錠剤残留物がこびりついている可能性があります。次回ご使用になる前にふた内側を水ですすぎ、陰干しにてよく乾燥させてください。</p>
1-4		<p>長い期間ご使用になっている</p>	<p>気泡発生プレートの交換が必要です。</p> <p>販売店までご連絡ください。</p> <p>※フィルムは経年で少しずつ縮み、それにつれて気泡の発生量が低下します。縮み具合は環境によって異</p>

			なりますが、標準 1~2 年での交換を推奨いたします。
1-5		炭酸ガスの生成がうまくいっていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錠剤や水の量が少ない ・ 錠剤が水に浸かっている ・ タンクの水を再使用している などの原因が考えられます。ご確認ください。
2-1	気泡発生プレート全体から大きな泡が出ている	しばらく肌いれを使用していなかった	特別な対処は必要ありません ※長いことご使用にならないと、発生する泡が大きくなる場合があります。この場合は、再度のご使用につれてまた泡は細かくなっていきます。
2-2		プレートに油分(トリートメントやクレンジング剤など)が付いた	石鹸などを指につけて、プレート表面をやさしくこすって油分を落としてください。
3	プレートの一部から大きな泡が発生している	フィルムが破損している	販売店までご連絡ください。
4	タンクとふたの境目から泡が出る	ふたの締め付けが不十分	もう少しふたを強く締めてください。(※締め過ぎに注意してください) しっかり締めても変わらず漏れ続けてしまう場合は、本体不良の可能性があるので、販売店までご連絡ください。

5-1	<p>タンクの底(調整弁)から泡が出る</p> <p>※気泡発生開始後しばらくしてからの場合</p>	<p>正常な動作です</p>	<p>特別な対処は必要ありません。数分から数十分待つと、大きな泡は出なくなります。</p>
5-2	<p>タンクの底(調整弁)から泡が出る</p> <p>※気泡発生開始直後の場合</p>	<p>調整弁の不具合</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調整弁のタブを 2~3 回押ししてガスを抜いてください。それで泡が止まれば、以降は正常にお使いいただけます。 2. 1.の方法を実行しても泡が止まらない、もしくは、一度は止まっても毎回同じ現象が起こる場合は、調整弁の破損の可能性があります。販売店までご連絡ください。
6-1	<p>ふたが開かない</p>	<p>気泡発生中/気泡発生終了直後である</p>	<p>気泡発生の終了をお待ちください。終了前にやむを得ずふたを開ける必要がある場合は、調整弁のタブを押して中のガスを抜いてから、開けてください。</p> <p>※気泡発生中/発生終了直後は、本体内部にガスが充満しているためふたが開きません。また、調整弁によるガス抜き後も、時間を置くと再びガスが充満してふたが開かなくなります。ご注意ください。</p>

6-2		ふたをきつく締め過ぎている	濡れた布やゴム手袋などで滑り止めをしてからゆっくりと回して開けてください。
7-1	調整弁が動かない/正常に動作しない	錠剤残留物が調整弁にこびりついている	タンクの内側をよく洗浄してください。特に白い粉が目に見えてこびりついているところは、念入りに洗ってください。
7-2		調整弁が破損している	調整弁のタブに触れた際に抵抗なく動いたり、上記残留物が原因でないにもかかわらず全く動かない場合は、調整弁の破損の可能性があります。販売店までご連絡ください。